

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児期中枢神経疾患患者の運動評価の客観化に関する研究

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 木部哲也 (療育神経科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間：2026年4月28日～2031年3月31日

目的：患者さんのリハビリテーション中の動画とカルテに書かれた運動の様子等について、コンピューター技術を使って客観的に対応づけられるかを調べることを目的としています。

方法：カルテからの情報収集をもとに実施する後方視的な観察研究

■ 対象となる患者さん

2007年1月～2026年3月におおぞら療育センターでリハビリテーションを受けられた方(小児期から継続して成人期に移行された方を含みます)

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：該当なし

情報：年齢、性別、身長、体重、病名、脳性麻痺の型、運動機能の程度、頭部MRI所見、リハビリテーション記事(運動の様子に関する記載)、リハビリテーション動画等

※ リハビリテーション動画は、コンピューター処理により体の姿勢や関節の位置等を示す解析データに変換します。お顔やお名前などの個人を特定できる情報は解析データに含まれません。

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

今市悠太郎、小児科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971